

平成16年度
社会福祉行政業務報告(福祉行政報告例)結果の概況
《児童福祉関係抜粋》

結果の概要

児童福祉関係

- 1 保育所の施設数・定員・在籍人員
- 2 児童相談所における相談の種類
- 3 児童相談所における虐待相談の処理件数

報 告 の 概 要

1 報告の目的

福祉行政報告例は、社会福祉関係諸法規の施行に伴う各都道府県、指定都市及び中核市における行政の実態を数量的に把握して、社会福祉行政運営のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 報告の対象

都道府県、指定都市及び中核市を対象とした。

3 報告の種類

月報(9表)及び年度報(57表)

4 報告事項

生活保護関係、身体障害者福祉関係、特別児童扶養手当関係、知的障害者福祉関係、老人福祉関係、売春防止関係、民生委員関係、社会福祉法人関係、児童福祉関係、母子保健関係、児童扶養手当関係、戦傷病者特別援護関係

5 報告系統

厚生労働省 — 都道府県・指定都市・中核市 — 福祉事務所・児童相談所 等

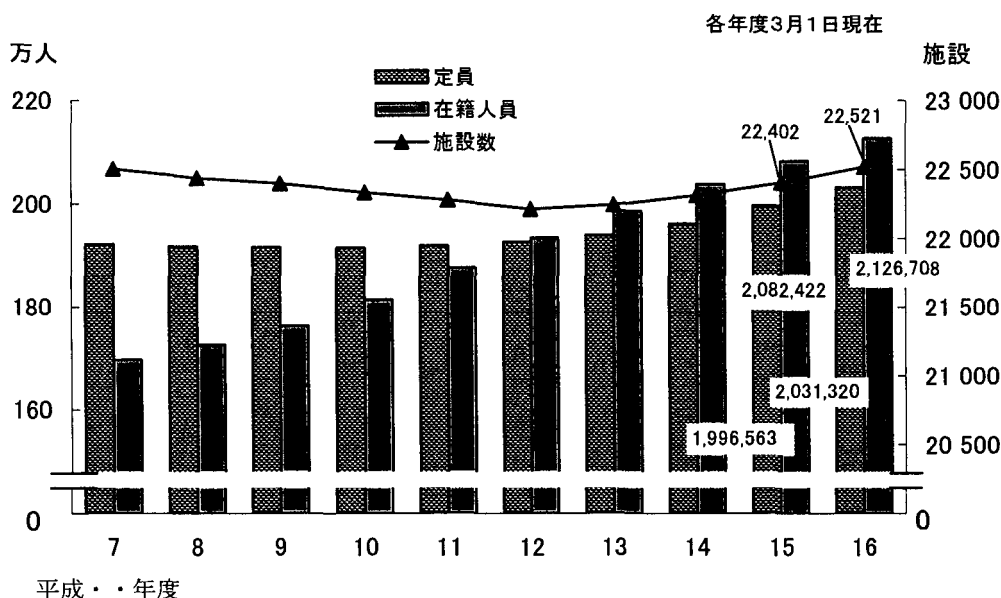
結果の概要

児童福祉関係

1 保育所の施設数・定員・在籍人員

平成17年3月1日現在の保育所数は22,521施設で、定員は2,031,320人となっている。在籍人員は2,126,708人で平成7年度以降増加傾向にあり、平成12年度以降は定員を上回っている。(図1)

図1 保育所の施設数・定員・在籍人員



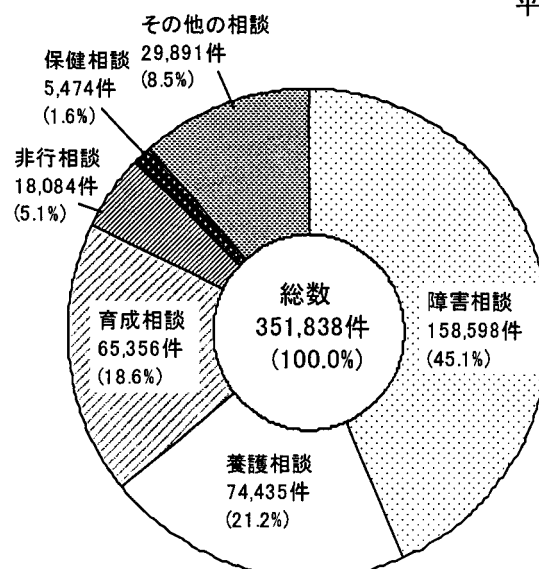
2 児童相談所における相談の種類

平成16年度中に児童相談所が処理した児童の福祉に関する相談件数は351,838件である。

相談の種類別にみると「障害相談」が158,598件(45.1%)と最も多く、次いで「養護相談」が74,435件(21.2%)、「育成相談」が65,356件(18.6%)となっている。(図2)

図2 児童相談所における相談の種類別処理件数

平成16年度



3 児童相談所における虐待相談の処理件数

平成16年度中に児童相談所が処理した養護相談のうち「虐待相談の処理件数」は33,408件で、前年度に比べ6,839件(前年度比 25.7%)増加している(図3)。これを相談種別にみると、「身体的虐待」が14,881件(44.5%)と最も多く、次いで「保護の怠慢・拒否(ネグレクト)」が12,263件(36.7%)となっている(図4)。

また、被虐待者の年齢別にみると「小学生」が12,483件(37.4%)、「3歳～学齢前」が8,776件(26.3%)、「0～3歳未満」が6,479件(19.4%)となっている(図5)。

図3 虐待相談の処理件数

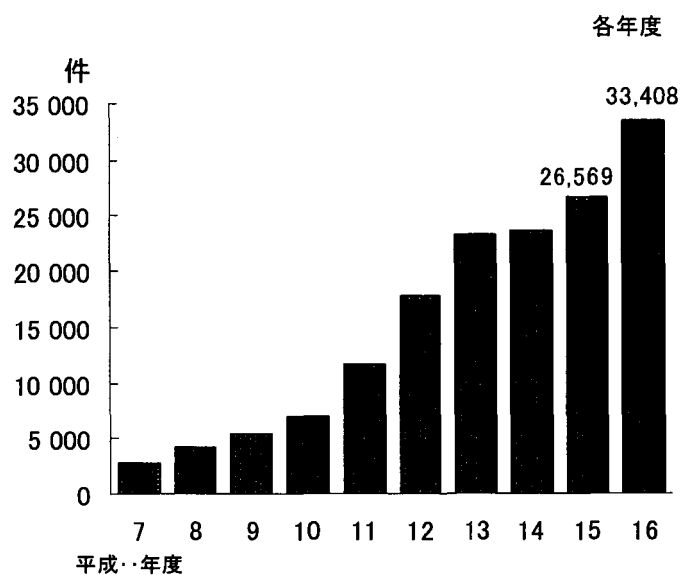


図4 虐待の相談種別構成割合

平成16年度

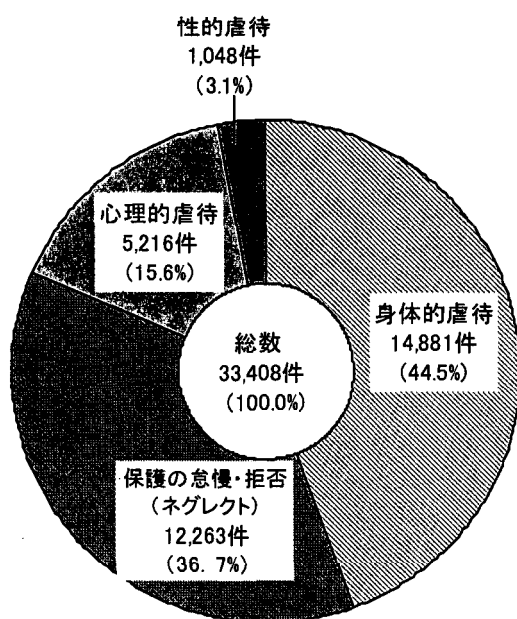


図5 被虐待者の年齢別構成割合

平成16年度

